

6板

ブログ

情報化社会を どう生きるか 2
How do you live in an information society?

する生活の中で

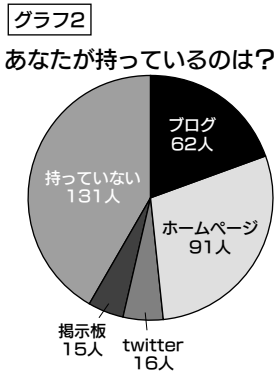
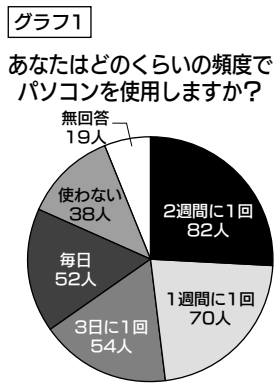
ト 携帯電話

東高生のパソコン利用率 9割近くに

9割近くに

情報化社会が身近になってきているということは、誰もが実感していることだろう。生徒を対象に行ったグラフ1のアンケート結果からもわかるように、高い頻度で生徒がパソコンを使用していることが伺える。

また、グラフ2のグラフからは、多くの人がインターネットサービスを利用して、パソコンを使用していることがわかる。その要因としては、パソコンや携帯電話などの情報機器が普及したことが挙げられる。(清)



ネット掲示板 書き込みはポジティブに

8月27日、滋賀大学教育学部の松原伸一教授に、ネット掲示板について話を伺った。

教授は「本来掲示板は、忙しい人たちが、時間や場所を共有できないという問題を解決することが利点である」と話された。さらに掲示板やブログを

増加していることについては、「はっきり言うとネット上で起きている問題については、規制をしてもきれいな現状だ。しかし、一定の規制はある程度効果をもたらさずと語ってくれた。」

また、「書き込み側も内容はできるだけポジティブな内容で読み手に悪い印象を与える文章は、できるだけ書かないようにするのが好ましい」と話された。(鮎)



▶研究室で新聞部員に向けて話される松原教授(右) 皆が使っている「情報」の教科書を執筆されている

東高生 ネットコミュニティを語る

“気軽に楽しめばいいんじゃない” 座談会

9月14日、15日に相談室において「ブログ」や「掲示板」、「ツイッター」をテーマに新聞部が座談会を開いた。参加者は大西裕弥君(2-5)、松里将史君(2-6)、西川尚吾君(2-6)と新聞部員5名、司会は若佐優君(2-5)が行った。(龍&真)

岩佐：掲示板やブログ、ツイッターをやっていると楽しかったことや便利だと感じたことはありますか。

大西：知り合いのブログなどを見て、その人の1日の行動を知ることができると、楽しい。あと、気になる女子のブログを見たりとか、他のブログへのリンクをたどったりするのが楽しい。



▶語る大西君(手前)

岩佐：では、逆に困ったことはありますか。

松里：たまにブログに迷惑コメントが来るのが、こまめに削除するしか仕方がないのかな。

松里：僕は知っている人からのコメントだけに返信するかな。

大西：俺は男からのコメントは返さないけれど、女からのコメントは何か何でも返すぞ。

全員：なんやそれ！(笑)

岩佐：ところで、ブログを持つていない人は、やってみようとは思わないのですか。

西川：やり方が分かりにくくてやる気が起きない。

松里：最初はどこかブログサービスに登録していくつかある基本デザインを選んだだけだよ。

西川：細かいところのデザインを変えたりするのはさすがに難しいけど、

西川：毎日更新しているか不安だなあ。

岩佐：僕は1日でも更新を忘れると、次の更新がしにくくなるなあ。

大西：それは俺も思う。

松里：うーん、義務感を持つのはどうかなあ。

岩佐：僕は自分が書くこと、思った日に書けばいいと思うよ。気軽に楽しむことが大切なんじゃないかな。

西川：それもそうだね。

岩佐：結局、ブログってどんな存在なのですか。

大西：交流の場というよりも、日記要素が強いかな。自分のブログを見返すと、あのときこんなことがあったんだなあ、と振り返ることができておもしろいよ。

部員：そういえば、ブログを本にするサービスがあるらしいね。

西川：今までは友達とのブログを見るだけだったけど、自分のブログを作ってみようかな。



◀「大人に相談して」と話される伊藤先生

大人に相談 することが大切

生徒課 伊藤 公英 先生

ものだ。しかし、掲示板は匿名性によって誰かが誹謗中傷を書いても、それで常識を考えてうまく書いた人の活用してほしい」とアドを書いた人のアドバイスをくださった。また、匿名性であること、巻き込まれたときの対処法について伺ってみると、「絶対に一人で解決しようとしてはいけない。トラブルによってはなかなか相談しにくいかもしれないが、それでも大人に見て交換できると話して下さった。(清)

よ。細かいところのデザインを変えたりするのはさすがに難しいけど、

余呉湖畔・料理民宿

みずうみ

〒529-0523 滋賀県長浜市余呉町川並1215
TEL0749-86-3213・FAX0749-86-3855

JR北陸本線余呉駅から徒歩20分(送迎あり)。お車の場合、北陸自動車道・木之本ICからR365で余呉湖畔まで約10分。

HAIR'S CLUB
KAMIKOUBOU

Space for which sensibility, it creates, it heats, and beauty and your individuality is made the best use of.

□OPEN/9:00~18:30
□CLOSE/毎週月曜
第1・3月火連休
長浜市港町4-9(長浜港前)
ご予約優先制
TEL.0749-62-0864